



白杵 増やしたい

小学生と保護者が 干潟で生態系学ぶ

シーグラスを使ったフォトフレーム作りに挑戦する子どもたち＝白杵市役所

【白杵】干潟で生物と触れ合う体験ツアーが2日、白杵市洲崎の白杵川河口干潟などであった。県や市などが取り組む「白杵アサリ復活プロジェクト」の一環。

子どもたちに海の豊かさや環境保全の大切さを伝えることが目的で、県内の小学生と保護者45人が参加。県の担当者が生態系の変化やアサリが減った理由、増殖のための取り組みを説明した。

子どもたちは、プロジェクトメンバーが生育調査で6月下旬に設置した稚貝を入れた網袋を開封。海水で砂を洗い流し、アサリの数と大きさを調べて成長具合を記録した。観察後は海や生物のために自分たちができることを考えて発表した。

ツアーでは市認証の「ほんまもん農産物」や地魚の弁当を堪能したほか、シーグラスを使ったフォトフレーム作りにも挑戦した。

大分市下郡小3年の上野大空君(9)は「いろんな経験ができて楽しかった。アサリが元気に過ごせるよう海や山を汚さないようにしたい」と話した。

(衣笠田布妃)

大分合同新聞 2023年9月8日(金) 朝刊 13面

〔問①〕 見出しの の部分に入る名詞をいれましょう。

白杵 【 **アサリ** 】 増やしたい

〔問②〕 このプロジェクトの目的を文中の言葉を使って25文字で答えましょう。

子どもたちに海の豊かさや環境保全の大切さを伝えること

〔問③〕 今後、干潟の生物を守るために自分たちができることを考えて書いてみよう。

※自由記述